

# 2016 SPS/JSPS/CSPT 合同年会 開催のご案内

2016 SPS/JSPS/CSPT 合同年会 プログラム委員 JSPS 代表  
千葉 克芳、吉永 貴志、澤田 光平

安全性薬理試験は、薬理学、毒性学及び生理学を基礎におき、さらに臨床薬理学との関連を常に意識した非臨床試験であり、その研究分野をサポートするために [Safety Pharmacology Society \(SPS\)](#) が 2001 年に設立されました。学術集会には産官学の担当者が一同に会して、その評価のあり方や手法について情報を交換しています。日本におきましては、SPS との連携も視野に入れ、安全性薬理試験に関する情報を交換する場を提供するために、2009 年に日本安全性薬理研究会 (Japanese Safety Pharmacology Society, JSPS) を発足させ、過去 6 回の学術集会を開催して参りました。

このような状況を踏まえ、次回 SPS 学術集会 (2016 年 9 月、バンクーバー (カナダ)) におきまして、Canadian Society of Pharmacology and Therapeutics (CSPT) を含めた 3 団体の合同年会を開催する運びとなりました。本合同年会では、「Translational Research in Safety Pharmacology (仮)」をメインテーマとし、基調講演、シンポジウム及び一般演題 (口述/ポスター) などの多くの発表を予定しております。

多数の JSPS 会員の皆様がお越し下さり、積極的にご参加頂くことを心よりお待ちしております。

## 記

1. 会期： 2016 年 9 月 18 (日) ~ 21 日 (水)
2. 会場： Vancouver Convention Centre (カナダ、バンクーバー)
3. プログラム (案) :
  - Advances in technologies: In vitro and in silico
  - Prediction/Translation CV: Safety pharmacology (SP) outcomes and integrative SP
  - Prediction/Translation CNS and respiratory
  - State-of-the-art technologies and methods
  - Translational biomarker research: Bridging the gap between non-clinical and clinical
  - Practical/receptor pharmacology
  - Pharmacometabolism and disease/condition focused topics etc.

(決定内容の詳細は、JSPS ホームページ等で随時ご案内する予定です。)

2015 年 11 月

